

雇用促進住宅の廃止方針について

【質問】長野県内10市1町にある14カ所の雇用促進住宅の廃止方針が入居している850世帯に書面で通知されている。

飯山市にある雇用促進住宅の入居者には、まだ通知がないようだが住民から不安の声が出ている。どのように対応していくのか。

【市長】企業誘致をしているうえで住宅があるか、ないかは大事な要件。しっかりと検討していく。

住宅屋根無雪化事業実態調査について

【質問】平成10年度から19年度までに補助金を受けた184人を対象とした実態調査を、今後の事業にどのように活かしていくのか。

【部長】機械の不都合で稼働せず施工業者が倒産したケースもあった。業者まかせの工事にならないように、アドバイスをしていく。

ガイドラインに基づいたアレルギー疾患の治療の啓発を



小林初子議員

【質問】アレルギー疾患には気管支ぜん息・アトピー性皮膚炎・アレルギー性結膜炎・食物アレルギー・アナフィラキシー・アレルギー性鼻炎等がある。

アレルギー医療の現状を患者の視点から見ると、患者は医療機関を選択する情報もなく、受診した資質によって病後の経過が大きく左右され生活の質の格差を生み不適切な民間医療に取り込まれる人が少なくない。そのため国や県の医療体制の整備に併せ地域で患者を早期発見し早期治療につなげる連携体制の構築が急がれている。

今年度文部科学省より教育委員会や学校に「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」が

配布されたが、教職員の情報の共有や連携と共に、養護教諭だけでなく全教職員の研修会も必要と考える。

また、アレルギー疾患を通して病気を理解し、困っている友達を支える心を育てる「健康教育」を行うことで学校の子ども達に欠けがちな「共感する心」を育てることにもつながっていくと考えるが教育長のお考えをお聞きたい。

【教育長】アレルギー疾患を持つ子ども達に対しては養護教諭が職員会等で全職員に対応を説明しているが、緊急を要する中身があるので大事に研修を続けていきたい。

がん対策について

【質問】東京大学医学部中川恵一准教授によると日本は、がん大国でありながらがん対策後進国であると言われている。今年度当市のがん検診の受診状況は。

【部長】申し込み者に対して子宮がん約7割、乳がん約9割、肺がん6割弱。対象年齢に対しては全体の1／2割の受診率。その他の検診は終了前。

【質問】仕事等で受診できない方のために日曜日のがん検診導入のお考えはあるか。

【部長】現状の体制の中では難しい。

市民霊園について

【質問】市民霊園を造るお考えはあるか。

【市長】大幅な需要等があれば検討したい。



検診で受付をする住民（上町公会堂）



上松永林議員

改正中心市街地活性化法によるまちづくりの説明会を



灯籠まつり・多くの観客で賑わった

市街地に飛来するカラスの大群にどう取り組むか

【質問】家庭ゴミ集積場所におけるゴミの撒き散らしなど、カラスの被害が目に見え、観光客のイメージも悪くなる。カラスの駆除、追放は行政が主導し、住民の協力を得て取り組むべき問題では。

【市長】生ゴミの管理を徹底することが一つの抑制策。市民のご協力をいただきたい。

【部長】ごみステーションの利用単位でネット、シート、鉄製ゲージ設置などで対応してもらっている。設置の補助やネットの貸し出し等を行っているので、実情に即して利用いただきたい。カラスの駆除は農作物被害対策を目的に、猟友会に依頼して毎年三百数十羽を駆除している。市街地は難しいが、別途相談いただきたい。

統一感ある飯山市のキャッチコピーが必要ではないか

【質問】飯山倶楽部の調査によれば、市発行のパンフ

委員会議事録

9月12日、16日、17日において、各委員会にて審査が行われました。

総務委員会

総務委員会に付託された議案は、平成19年度一般会計決算案の関係部分及び特別会計決算案3件、平成20年度一般会計補正予算案の関係部、特別会計補正予算案1件、条例案3件、事件案1件の計10議案で、慎重に審査しました。

審査結果は、全議案とも

全員一致で、認定又は可決すべきものと決しましたが、審査の中で、事務職場における建築等の工事実施に当たり、技術職員がおらず、工事の内容把握、工程管理、検査態勢等難しいのではないかと意見が多く、今後事業実施に当たっては人事体制等検討をしていただきたいとの意見が多くありました。

また、市職員研修について、現在積極的に行っているが、公務員としての資質の向上に資する研修・男女共同参画社会づくりの研修も行い、研修内容と研修の成果をどのように役立てているか示してほしい。

市税関係では、差し押さえ物件のインターネット購買について、当初の購買品価格の設定を精査されるようにとの意見がありました。

陳情書の審査は「共同出資・共同経営で働く協同組合（仮称）の速やかな制定について」の意見書の提出を求める陳情については、根拠法の制定の陳情であり、内容について不明な点が多く、引き続き調査研究の必要があるとの意見が多



総合防災訓練（城北グランド周辺）

数を占め、継続審査となりました。

「非核平和予算の拡充を求める陳情」については、非核平和に対する思いは皆同じであり、19年9月議会では「非核日本宣言」を求める陳情書は採択したところであり、本陳情は市の事業についての陳情であり、本定例会で教育長は、来年度以降も「中学生平和学習派遣事業」の継続実施を表明しており、飯山市議会の中での議会活動に当たるところから趣旨採択となりました。

産業建設委員会

産業建設委員会に付託された議案は、平成19年度一般会計決算案の係数部分及び特別会計予算案5件、平成20年度一般会計補正予算案の係数部分及び特別会計補正予算案5件、条例案1件、事件案2件の合計15議案で、慎重に審査しました。

審査結果は、平成20年度一般会計補正予算案の係数部分の一部を除き、全員一致で認定または可決すべきものと決しました。

平成20年度一般会計補正予算案（第2号）については、経済部関係の観光地振興活動支援事業補助金については、戸狩観光協会が冬期間の週末に実施予定のスキー場と長野駅を結ぶ直通バスの運行に、2分の1の補助することについて、市として補助金の5%削減を進めている中で、スキー場関連とはいえ路線バスとは違う方式であり、限られた客の送迎に補助をすることは他の補助事業への影響も考えられ、